

研究・調査報告書

報告書番号	担当
307	高崎健康福祉大学薬学部細胞生理化学研究室
題名 (原題/訳)	
Effect of drinking on adiponectin in healthy men and women: a randomized intervention study of water, ethanol, red wine, and beer with or without alcohol. 健康な男性と女性のアディポネクチンに対する飲酒の効果：水、エタノール、赤ワイン、ビールの無作為割付介入研究	
執筆者	
Imhof A, Plamper I, Maier S, Trischler G, Koenig W.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Diabetes Care. 32(6): 1101-1103 (2009)	
キーワード	
エタノール、2型糖尿病、アディポネクチン、性差、無作為割付介入研究	
要旨	
目的： 中等度量のアルコール消費は2型糖尿病の発症率や心血管系疾患による死亡率を低下させ、(インスリン抵抗性を改善する)アディポネクチンの濃度を上昇させる。しかし、この効果は性別や摂取しているアルコール飲料で異なる可能性があり、この研究ではこれらの点について検討する。	
実験計画と方法： 72名の健康な成人(年齢22-56歳)を無作為割付比較交叉試験の対象とした。一定期間の断酒により習慣的飲酒の影響を除いた後、3週間で2回、次の介入が実施された；男性には一日30g、女性には一日20gのエタノールに相当するエタノール(12.5%)、ビール(5.6%)、赤ワイン(12.5%)あるいはアルコール除去した同じ飲料、または水。アディポネクチンは酵素結合免疫吸着法で測定した。	
結果： 女性では赤ワインの消費でアディポネクチンが有意に上昇した(29.8%、 $P<0.05$)。また、男性ではエタノール溶液(17.4%、 $P<0.05$)とビール(16.1%、 $P<0.05$)の消費後、アディポネクチンの上昇がみられた。脱アルコール飲料はアディポネクチン濃度に影響しなかった。	
結論： 中等度量のエタノールを含んだ飲料はアディポネクチン濃度を上昇した。また、性差による効果の違いは摂取したアルコール飲料の種類に依存していると思われる；男性ではアルコール飲料として33%がビールを選択し、女性では50%がワインを好んで摂取している。	